

NKYゲージ

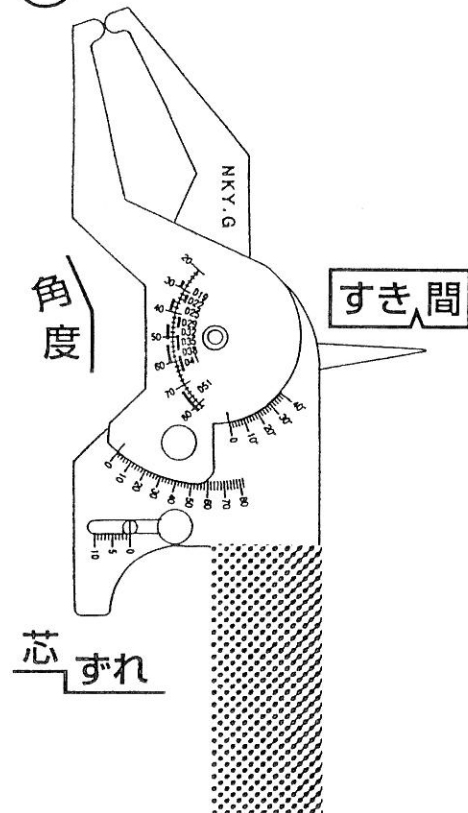
取扱説明書

この説明書は、この商品の使いかたと使用上の注意事項について記載しています。
ご使用前に、よくお読みの上、正しくお使いください。

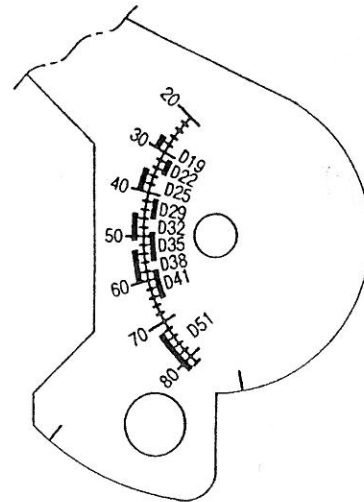
△注意

やむをえず、鋭利な部分があります。
取り扱いにはご注意ください。

④ 径 > 幅 <

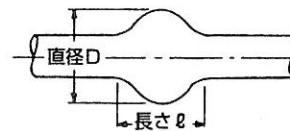


下図ゲージの表記は、計測時の参考目安数値です。

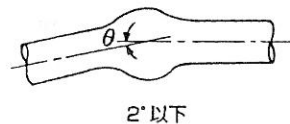


外観検査 (継手の合否判定基準/2010年1月現在)

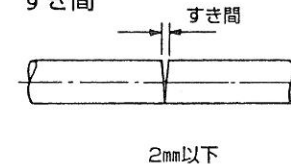
圧接部のふくらみの直径とふくらみの長さ



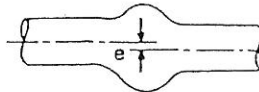
折れ曲がり



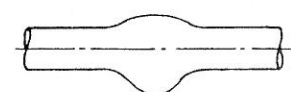
すき間



偏心量



片ふくらみ



鉄筋径の1/5以下
※径が異なる場合は、
細い方の鉄筋

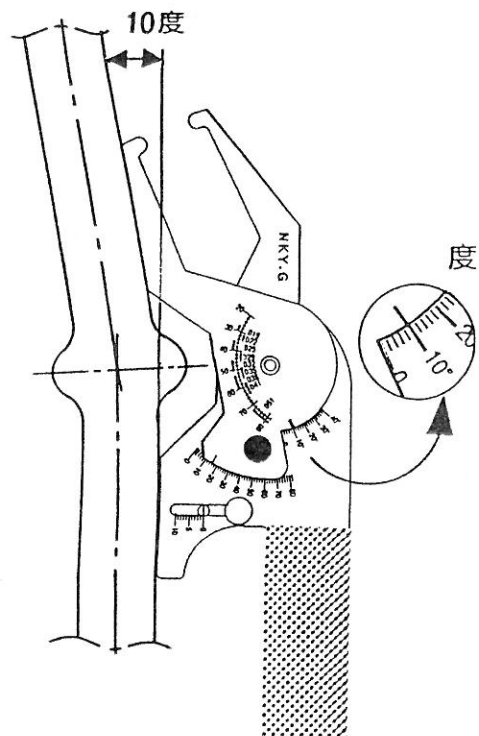
圧接部の形状と寸法

単位: mm

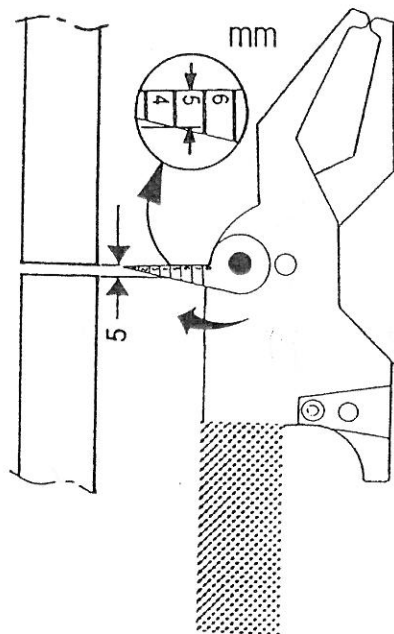
呼 び 名	公称直径 (D) mm	圧接部ふくらみの直径と長さ						偏心1/5	折れ曲がり	接合部すき間
		1.0D	1.2D	1.3D	1.4D	1.5D	1.6D			
D19	19.1	19.1	22.9	24.8	26.7	28.6	30.5	3.8	2°以下	2mm以下
D22	22.2	22.2	26.6	28.9	31.9	33.3	35.5	4.4		
D25	25.4	25.4	30.5	33.0	35.6	38.1	40.6	5.1		
D29	28.6	28.6	34.3	37.2	40.0	42.9	45.8	5.7		
D32	31.8	31.8	38.2	41.3	44.5	47.7	50.9	6.4		
D35	34.9	34.9	41.9	45.4	48.9	52.4	55.8	7.0		
D38	38.1	38.1	45.7	49.5	53.3	57.2	61.0	7.6		
D41	41.3	41.3	49.6	53.7	57.8	62.0	66.1	8.3		
D51	50.8	50.8	61.0	66.0	71.1	76.2	81.3	10.2		
備 考	ふくらみの直径：細い方の鉄筋径の1.4D以上。ただし、SD490の場合は1.5D以上。									
	ふくらみの長さ：鉄筋径の1.1倍以上。ただし、SD490の場合は、1.2D以上。									

2010年1月現在 (社)日本鉄筋継手協会標準仕様書による。

3.折れ曲り角度の測定方法



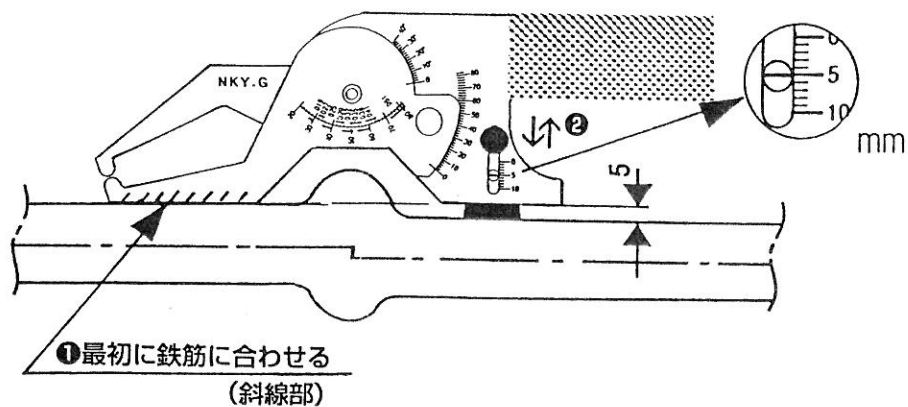
2.圧接部のすき間測定方法



△注意

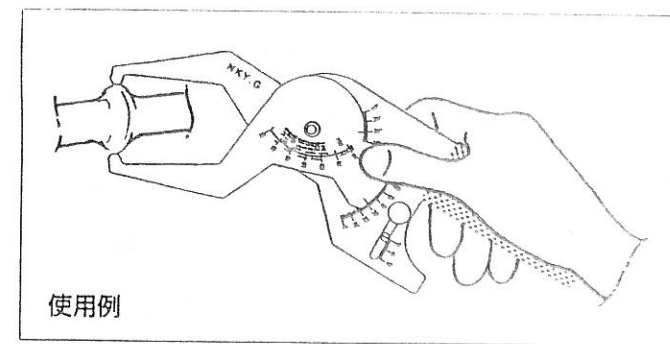
やむをえず、鋭利な部分があります。
取り扱いにはご注意ください。

4.偏心(芯ずれ)の測定方法



使いかた

◆参考計測例1～4



1.鉄筋径・圧接部の形状測定方法

